

様

~ 診断後フィードバック ~



NTT 西日本ビジネスフロント株式会社

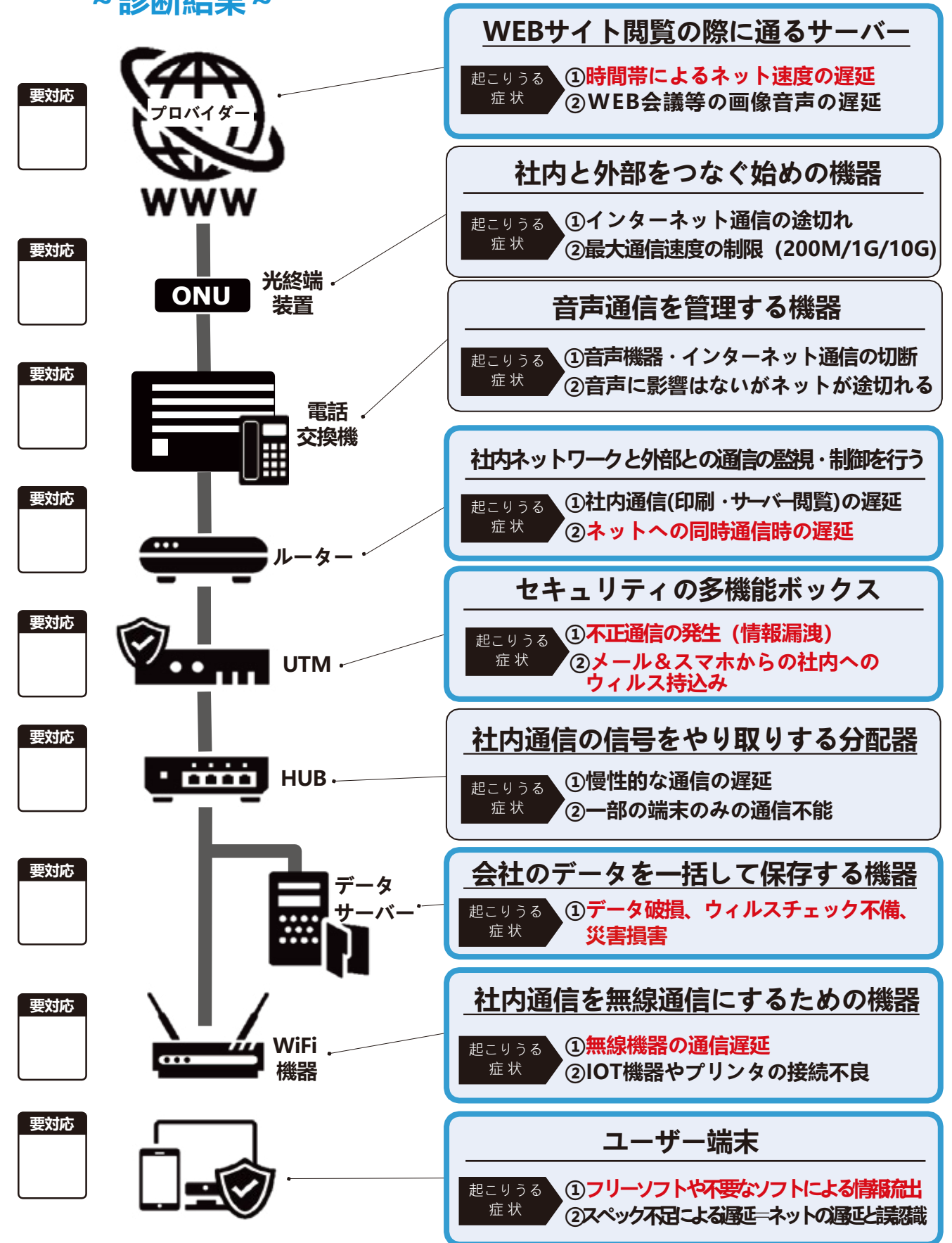
支店

営業所

■ 営業担当

■ 連絡先

~ 診断結果 ~



▶ 診断時のメモ

## 各項目の対策とアドバイス



### ウイルス対策

全ての通信を一回ずつ確認していくことは不可能に近いものがあります。しかしながら、現在のセキュリティ対策としてセキュリティソフト(従来型の対策)だけでは、対処できないこともまた事実です。**情報の有無、自社内の被害に留まらず、取引先にも影響を与えかねないのでしっかりと対策しましょう。**



### アドバイス

- ★会社の端末とプライベート端末のしっかりとした使い分けをしましょう。
- ★セキュリティ強化ができるサービスの検討をしましょう。(二重三重の対策)
- ★社外持ち出し端末や他社から来るデータへの対応を見直しましょう。



### データ管理

テレワークや業務効率化の推進に伴い、社内外でのデータやり取りは、よりセキュアな環境で実施する必要性がございます。重要な業務データを紛失した場合、機器は新たに用意できますが、失った「情報(=データ)」は元には戻せません。業務効率化とセキュリティの両方を維持することが重要です。



### アドバイス

- ★サーバー故障時や点検・停電対策など運用管理を見直してみませんか。
- ★社内外とのデータやり取りに不安要素(USB管理等)が無いか見直してみましょう。
- ★自社に必要なデータの容量が適正か、見直してみましょう。



### Wi-Fi環境

今のオフィス環境でWi-Fiネット環境に不満要素がある場合、お客様のオフィス環境にあったWi-Fiの選定が必要です。またセキュリティ対策を怠れば**個人スマホから最悪の場合、ウイルスが流れ込んできて被害を受ける**可能性もありますのでしっかりと対策をしていきましょう。



### アドバイス

- ★業務に必要な端末とプライベート端末の接続状況の把握をしましょう(Wi-Fi機器検討)
- ★お使いのWi-Fi端末のセキュリティ対策が十分か確認してみましょう。
- ★個人端末のWi-Fi利用について見直してみましょう。



### ネットスピード

現代のネット通信において、必要なデータ量は大幅に拡大してきています。時間帯やWEB会議の開催などにより、速度は大きく左右されます。昨今、DXという言葉が耳にしますが、業務改善という意味としては**ネットの速度改善も立派なDXといえるか**と思います。



### アドバイス

- ★利用端末の台数とルーターのスペックの確認をしましょう。
- ★プロバイダーの契約の確認をしましょう。(IPv4・IPv6)
- ★NWの中にあるHUBやケーブルの仕様を確認しましょう。



### 機器管理

機器管理者の大きな役割は、トラブルの鎮火と再発防止です。通常勤務がある中での対応には大きな負荷がかかります。**トラブル発生時に相談可能な関係の構築と再発防止のための分析機能の検討が必要です。**

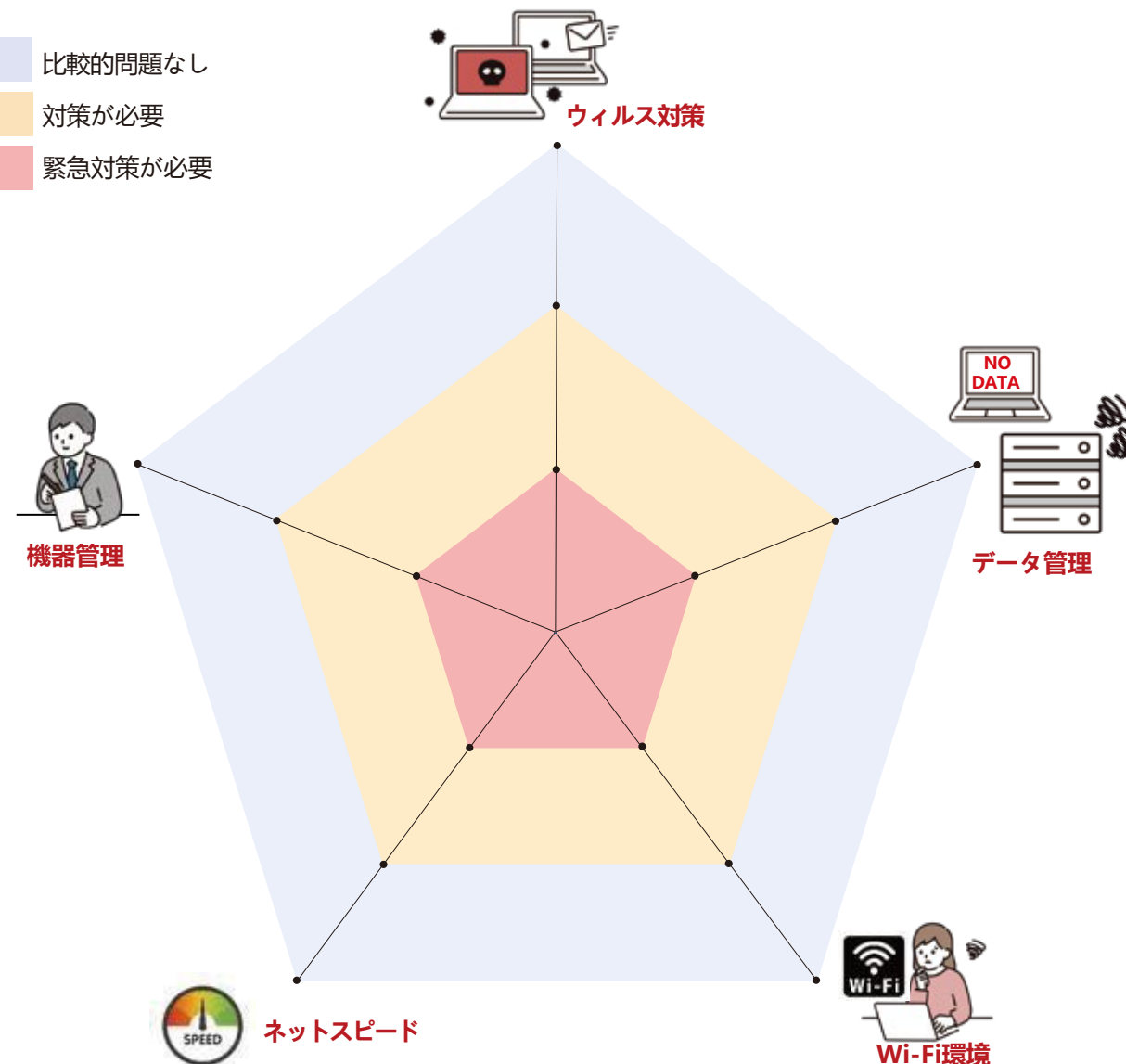


### アドバイス

- ★NW機器の構成と機種(スペック)を把握しましょう。
- ★トラブル対応時の対応マニュアル(連絡先など)をまとめましょう。
- ★トラブル対応後の分析可能な体制を整えましょう(ログやカメラなど)。

## 診断結果から見たトータルバランス

- 比較的問題なし
- 対策が必要
- 緊急対策が必要



## 5つのポイントの高バランス維持 = セキュリティ対策

個人情報保護法の改定に始まり、マイナンバー制度、インボイス制度など、現代の経営において**運用データと利用端末の保護は絶対条件**となっています。自社の保護だけでなく、**取引様への配慮**にもなりますので、直接的な生産性には繋がらないものの、**損失は大きく出してしまう部分**になっています。

**会社の現状を視覚的に把握することで、効果的なアプローチが可能**となります。

今回の診断によって見えてきた課題について、再度社内でもご検討いただき、より安定した環境の構築の参考としていただければと思います。